

R5 開始

いまばりし
今治市（愛媛県）

～主な品目～

水稻・野菜（にんじん 等）・果樹（みかん等）

実施体制

今治市、今治市食と農のまちづくり委員会、今治市有機農業推進協議会、今治立花農業協同組合、越智今治農業協同組合、有機農業者、立花地区有機農業研究会、大三島自然農法グループあしたも、今治市有機農業推進グループ

面積情報

有機農業取組面積：－ ha 耕地面積に占める割合：－ %



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（果樹）	R4年度	37ha	→	R10年度	43 ha
有機農産物の販売数量の拡大（給食使用量）	R4年度	10.7 t	→	R10年度	18.2 t
有機農業に取り組む農業者数の増加	R4年度	72人	→	R10年度	82 人

2 有機農業を拡大していく上での課題

有機農業の新規就農者を増やすこと
そのための人材確保、人材育成の支援体制を整えることが課題

拡大をはばむ雑草の紹介

- ・クズ（4月～12月）
- 【対策】
定期的に除草を行う
（2か月に1回）



▲クズ

3 課題に対する取組のポイント・成果

- ・「有機農業就農サポート事業」市独自の取組として、有機農業で新規就農を目指す研修生を支援
- ・「有機農業研修生受入事業」研修生を受け入れる有機農業者に対する支援
- ・有機JAS認証に係る手数料を支援

【取組による定量的な成果】

有機農業者の増加 R3：72人 → R5：74人

ポイントとなる技術

果樹園における夏場の除草作業は過酷を極め、また、摘果等の作業や他の作物の作業と重なっているが、機械を導入することで作業の効率化が図られ、体の負担を軽減しながら適期作業が出来、さらなる高品質果実生産も可能となる。



▲ラジコン草刈り機

4 主な取組内容

①生産

- ・有機農業で新規就農を目指す研修生を支援
- ・研修生を受け入れる有機農業者を支援
- ・一般市民や新規就農希望者向けの有機農業講習会を実施

②加工・流通

- ・規格外の柑橘の果汁を使用した加工品製造に向けた農業者や流通業者等の調整

③消費

- ・小学生のさつまいも植付け・収穫等の農業体験や収穫したさつまいもを使ったメニュー考案による食育
- ・有機農産物を使用した給食の実施
- ・有機農業PR・食育動画の制作
- ・オーガニックビレッジの取組に関する市民アンケートの実施
- ・学校給食への有機農産物導入の仲介を行うJA今治立花との連携協議



▲有機農業講習会



▲小学生の農業体験